高野小・5年生28名が稲刈りの体験学習

5月に植えた稲が実り、収穫の時期を迎えました。
9月19日(金)は前日に雨が降り、当日の稲刈りが心配されましたが、予定通り実施することができました。
当日は「地元の方」の協力のもと、5年生28名が稲刈り体験に参加しました。子どもたちは、農家の方に教わりながら、'カマ'を使って稲を刈りました。雨で稲が濡れていたため刈るのに苦戦していましたが、汗をかきながらも貴重な稲刈りの体験をすることができました。

あきまつり＆ハロウィン

ミ・ナーデ

10月11日、12日の2日間、今年もミ・ナーデで「あきまつり＆ハロウィン」が行われました。
朝から多くの家族づれで賑わい、たくさんの子ども達がハロウィンパーティを楽しんでいました。ゲームコーナーやおばけやしき、駄菓子屋さんなどの他にボランティアの方々の協力のもと、やきそば、かき氷、ヨーヨーなど様々なブースがあり、思い思いに仮装した子ども達が練り歩きながら楽しんでいました。

高野地区まちづくり協議会では、
高野地区の皆さんと共に「まちづくり」を推進するために、皆さんからのご意見や地域のさまざまな情報をお寄せください。よろしくお願いします。

【問い合わせ先】
守谷市役所 生活経済部 市民協働推進課
電話:0297-45-1111(内線 132)
E-mail:kyoudou@city.moriya.ibaraki.jp

高野地区まちづくり協議会 事務所
(高野公民館敷地内)
電話:0297-38-8485
(月・水・金曜日/9:00～13:00 ※不在の場合もあります)
E-mail:machikyo508@i3.gmobb.jp

分別ポスターを作成しました!

第3月曜日の不燃ごみの分別に悩みを抱える町内会が多く、9月2日に生活環境課を通し要望書を提出しました。また、耐候性の分別ポスターを作成し各町内会に配布、分別の啓発に努めています。

高野地区まちづくり協議会だより

きずな

令和7年12月10日号発行
高野地区まちづくり協議会
発行者：石澤 成浩
編集 広報部会

【高野地区】
松ケ丘・けやき台・南守谷・
高野・乙子・鈴塚・美園

第 27 号

みんなで創ろう！あたたかさを感じられる住みよいまちづくり

▲利根川河川敷 くるみ公園
◀ 利根川河川敷 桜並木通り
9月28日撮影

令和3年3月27日、地域の皆さんと協力して大野川手前の広場に「彼岸花」約1,000株を植え付けしました。

来年もお彼岸の時期には美しい花を咲かせてくれると思います。
お近くにお越しの際はお立ち寄りください。

防災講話

松ケ丘地域部会

10月11日(土)松ケ丘自治会館にて「もりやの地域防災を考える会」高木保氏を講師にお招きした防災講話で松ケ丘地区における防災意識を共有しました。避難場所や避難訓練・地区防災計画を中心に、活発な意見交換が行われました。

芋ほり体験会

高野美園地域部会

11月3日(月・祝) 乙子の大手さんの畑で芋ほり体験会を実施しました。美園・乙子地区の子供たち20人と保護者の方に参加いただき、にぎやかな芋ほり体験会となりました。この夏の高温と乾燥で芋の生育心配されましたが、掘ってみると、見事な紅あずまが顔を出し、子供たちから歓声が上がっていました。

夢中に芋ほりをする子供たち

大きいのとれたよ！

美園北秋まつり

高野美園地域部会

11月15日(土) 乙子公園で美園北秋の集いが開催されました。特設ステージでバルーンパフォーマンスや大道芸が披露され大いに盛りあがっていました。
また守谷市のゆるキャラの「もりやもり」が来場して、子供たちに取り囲まれていました。キッチンカーや出店からは、やきそば、鰻、ピザ、鳥のから揚げなど多彩な料理が提供され、来場した皆さんが楽しんでいました。

キッチンカー・出店の料理を楽しむ参加者

(左上)「もりやもり」を囲む子供たち
(左下) 大道芸
(右上) バルーンパフォーマンス

第4回グラウンドゴルフ交流会 ＜けやき台公園＞

主催:高野地区まちづくり協議会

11月16日(日)高野地区グラウンドゴルフ交流会を開催し、46名の方にご参加いただきました。当日は快晴に恵まれ、絶好のコンディションの中で実施となりました。ホールインワンが出るたびに歓声が上がり、終始、和気あいあいとした雰囲気で盛り上がりました。来年も地域の皆さまの交流の場として開催していく予定です。

＜参加人数＞　46名
けやき台　14名
雅会　15名
清和会　17名

＜競技の結果＞
■団体優勝
清和会
■個人優勝　初澤 三雄（けやき台）
2位　高橋 章　（雅会）
3位　清原 栄　（清和会）
■ホールインワン賞
佐藤 栄次（清和会）

団体優勝　清和会

個人優勝　初澤三雄(けやき台)

ホールインワン賞
佐藤　栄次(清和会)

秋の「市民健康ひろば」 ＜高野公民館＞

主催:高野地区まちづくり協議会
協力:守谷市社会福祉協議会

「秋の市民健康ひろば」を、もりりん高野にて全2回で開催されました。

バンビ薬局
薬剤師　吉田　尚生

第1回(10月5日) バンビ薬局の薬剤師が講師を務め、薬を効果的に使う方法や併用・併食の注意点を分かりやすく解説。説明しながらその場で参加者の質問に答えてくださり、疑問をすぐに解消できた点が特に好評でした。

医局長兼 脳卒中センター長
青柳 滋氏

第2回(11月15日) 医療法人慶友会の医師・リハビリ職・介護職の専門職の方々から、最新の治療や術後のリハビリ、介護についてわかりやすく教えていただき、幅広く学ぶことができました。

両日とも多くの方が参加され、日々の健康づくりに役立つヒントが得られる、充実した時間となりました。

高野地区ペタンク交流会 開催

主催:守谷市社会福祉協議会 高野支部
協力:高野地区まちづくり協議会

11月19日(水)、約35名が参加してペタンク交流会を行いました。ペタンクは目標球に金属製のボールを投げ合い、相手より近づけて得点を競うゲームで、ルールが簡単なため気軽に楽しめます。参加者はランダムにチームを組み、初心者も経験者に教わりながら和気あいあいとプレーをしました。優勝はEチームの皆さま。おめでとうございます。

高野火祭り2026

毎年恒例のどんど焼き、そして芋煮会を下記の通り開催します。
どんど焼きは地域のきずなを確認する場としての意味合いもあります。
皆様のご参加お待ちしています。

受付で引換券を先着＜100名様＞に配布します。

① あったかい豚汁

10:30配布 ・ 11:00お渡し

② 丸もち と竹枝

10:30配布 ・ 11:30お渡し

どんど焼き & 芋煮会

正月の風物詩

あわんとり

1/18(日)

浅間神社下水門脇・午前10時30分点火(小雨決行)

10:00 お楽しみ「出店」販売スタート
10:30 ご神木(やぐら)への点火
11:00 利根川産里芋を使った豚汁をサービスします
11:30 “どんど”の火で餅を焼きます

正月の松飾り、しめ縄などをお持ちください。
準備は8時から始めます。皆様のご協力お願いいたします。

■主催 利根川と自然を考える会　■協賛 高野地区まちづくり協議会

どんど焼き豆知識

日本の“どんど焼き”は小正月の一連の行事の一環として行われてきました。因みに、2018年11月、日本の「来訪神」（秋田県男鹿のナマハゲや沖縄県宮古島のバーントゥなど）はユネスコ無形文化遺産に登録されました。
この来訪神の祭りも小正月一連行事の一つです。

ナマハゲ

バーントゥ

小正月を祝う

どんど焼きの意味合いは大きく3つあると言われています。

（1）歳神（祖霊）をお見送りする。
（2）この一年の豊作（農村では五穀豊穣、漁村では豊漁、商いの商売繁盛）をきがんする。
（3）この一年の各家族の健康た地域の厄払い・防災を祈願する。

どんど焼きの意義

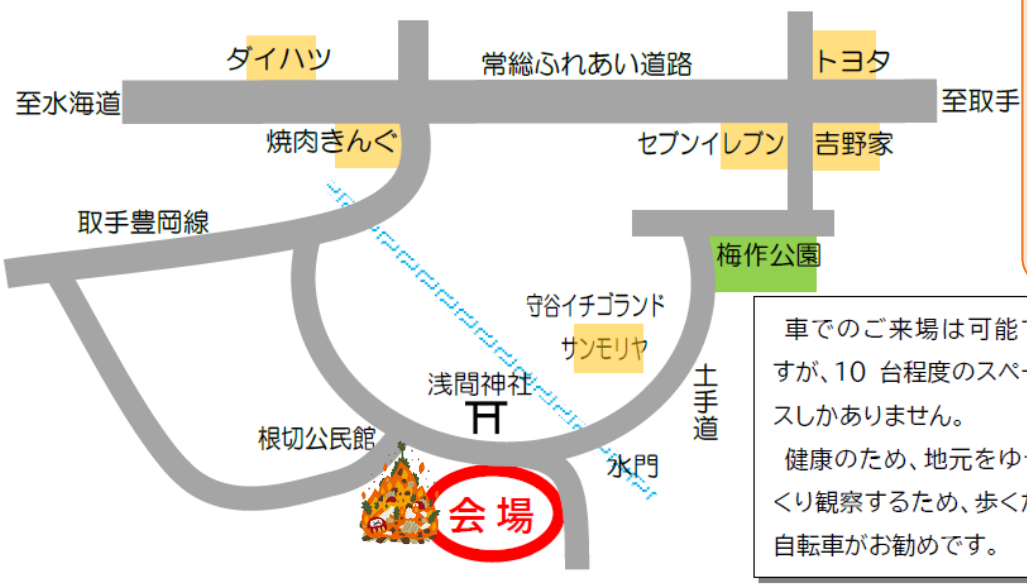
（1）まず、火祭り会場にご神木建てを行います。その年に豊作や福をもたらす神様の依り代となります。
災害・疫病から地域社会を守り、末永い発展を祈願し、暮らしの安全・安心を祖霊神に祈ります。

（2）次世代を担ってくれる子供は社会の大事な宝物であり神の使いです。いつしか子供たちは、地域の各家庭を訪ね、この一年の福を招くための予祝をするようになりました。地方によっては大人が仮面をつけて各家庭を訪ねます。これが来訪神です。「仮面」をつけて街に繰り出す風習は世界各地にみることができます。

（3）最後の締めくくりが火祭り（どんど焼き）です。
ご神木を焼いて歳神に願をかけます。そして神をお見送りします。正月飾りを焚き上げることにより、正月気分　に終わりを告げて、農作業などこれから一年間の各仕事の準備に取りかかります。

このようにどんど焼きは、地域社会を構成する人々が一堂に会し、「どんど」の火を囲んで、この一年の豊穣と健康そして防災を祈るとともに、地域の人々の「きずな」を確認する「場」として大変重要な行事と言えます。

車でのご来場は可能ですが整備された駐車場はありません。
健康のため、地元をゆっくり観察しながら、歩くか自転車がお勧めです。



から揚げ、肉まん、餃子、綿あめ　など、楽しいお店も出店します。

車でのご来場は可能ですが、10 台程度のスペースしかありません。
健康のため、地元をゆっくり観察するため、歩くか自転車がお勧めです。

浅間神社下水門脇